



# せいひ会だより

2009年(平成21年)  
9月1日発行  
<第113号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>



## 09年夏

8月

- 1~16日:4周年記念展(風和の里)
- 5・19日:書道教室(元亀の里)
- 6・20日:書道教室(風和の里)
- 8日:誕生会(元亀・通所)
- 8日:夕涼み会(風和の里)
- 23日:夕涼み会(GH)



9月

- 上旬:コスモス植え(風和の里)
- 2・16日:書道教室(元亀の里)
- 6・20日:書道教室(風和の里)
- 12日:誕生会(元亀・通所)
- 20日:敬老会(法人全体)
- 21日:敬老会(風和の里)
- 28日:収穫祭(GH)



10月

- 7・21日:書道教室(元亀の里)
- 1・15日:書道教室(風和の里)
- 10日:誕生会(元亀・通所)
- ミニ喫茶
- お月見(風和・GH)
- 運動会
- コスモス鑑賞(風和・GH)



☆8月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今回は元亀の里・松永 義忠様にお話を伺いました。

昭和8年、佐世保市相浦に10人兄弟の4番目として生まれる。父は石垣積みの仕事をしながら家族を養っていた。幼少時代は戦時中でもあり、空襲警報が鳴ると防空壕に逃げ込んだりと遊んで回った記憶がないそうだ。

12歳の頃終戦、博多で父の従兄弟が営む肉屋で働いた。30歳で長崎に戻り、兄が暮らす小ヶ倉で暮らすこととなる。その後も長崎市内の肉屋で働き、54歳で辞めるまで工場長として長年働いた。「肉の加工ばしょって忙しかったばってん、時間がある時は早めに切り上げて2階で博打ばしよった」と当時を思い出させていた。

退職後間もなく病気で倒れ、現在まで病院や施設を転々してきた。「倒れてから20年くらい経つばってん、段々身体の弱うなってきた」「前おった琴海の施設では、杖で廊下ば歩いて回りよったばってん今はできんね」と身体が弱ってきてることを心配されていた。

今楽しみにしている事は、「本や新聞ば読んだりテレビばよう見よう」そうで、「ここの本ば借りて読みよるばってん、置いてある本の半分くらいは読んでしもうた」と話されるように、日中は部屋で本を読んでおられる所をよく見かける。8月は夏の甲子園が行われていたが、熱心に野球観戦もされていた。「プロの野球はあんまい好きじゃなかばってん、高校野球は一試合一試合が真剣勝負で一生懸命しよるけん見る甲斐のある」そうだ。

食事の事を話されていて、「味は良かばってん、魚とかは魚らしう骨の着いとるとば食べたか」とのこと。また、「オイは何でん自分でするばってん、そいけんやろうか職員があんまい相手してくれん」「夜は冷房ば切ってあるけん熱うして寝られん」など日々の生活で気になるそうだ。

毎日リハビリに来られ、マシンや歩行練習、新聞を読んだりされている。「右足の腫れて痛うして歩きにっかとばい」と話されるが、「少しでも歩かんば身体の弱ってしまう」と今日もりハビリに励んでおられた。

これからも、充実した日々を過ごしてください。お誕生日おめでとうございます。



